

平成 20 年 8 月 12 日（火） 岐阜経済記者クラブ配付資料		
担当部署	担当者	電 話
(財)岐阜県産業経済振興センター	小川・齋藤	058-277-1085

## 東海北陸自動車道全通による経済効果

- 岐阜県内企業の意識調査結果より -

////////////////////////////////////

(財)岐阜県産業経済振興センターでは、岐阜大学地域科学部の三井栄（みつい・さかえ）准教授と共同で「岐阜県内企業における東海北陸自動車道に関するアンケート調査」を実施し、その結果をとりまとめました。

調査結果からは、企業及び地域経済に対して総じてプラス効果への期待感が大きいことと地域によって効果に対する期待感に差がみられることなどが明らかになりました。なお、報告書の全文は、(財)岐阜県産業経済振興センターのホームページに掲載されます。  
<http://www.gpc.pref.gifu.jp/cyousa/houkoku/houkoku.html>

////////////////////////////////////

### 調査の概要

- 目 的：東海北陸自動車道の全通による岐阜県内の産業経済面における効果への期待感を検証する
- 方 法：郵送によるアンケート調査
- 対 象：岐阜県に本社を有する企業 1000 社
- 回 収 数：521 サンプル
- 基 準 日：平成 20 年 6 月 1 日
- 質問項目：
  - ビジネスでの利用度
  - 業況への影響
  - 営業圏域・商圈への影響
  - 輸送・移動頻度
  - 雇用への影響
  - 現在または将来の企業戦略への影響
  - 地域経済への影響
  - 地域内の雇用（創出と流出）
  - 地域外企業との競争
  - 地域外から仕事・雇用を確保
  - 地域内の仕事・顧客の流出
  - 岐阜県全体における経済効果

この調査は、(財)岐阜県産業経済振興センターが四半期毎に行う「岐阜県の景況調査」に合わせて実施されたため、以上の項目の他、売上や採算の動向、景況感、雇用人員の過不足感、設備投資の実施状況などの項目についても分析を行える。

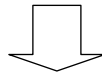
## 結果のポイント

### (1) 企業業績・地域経済への影響

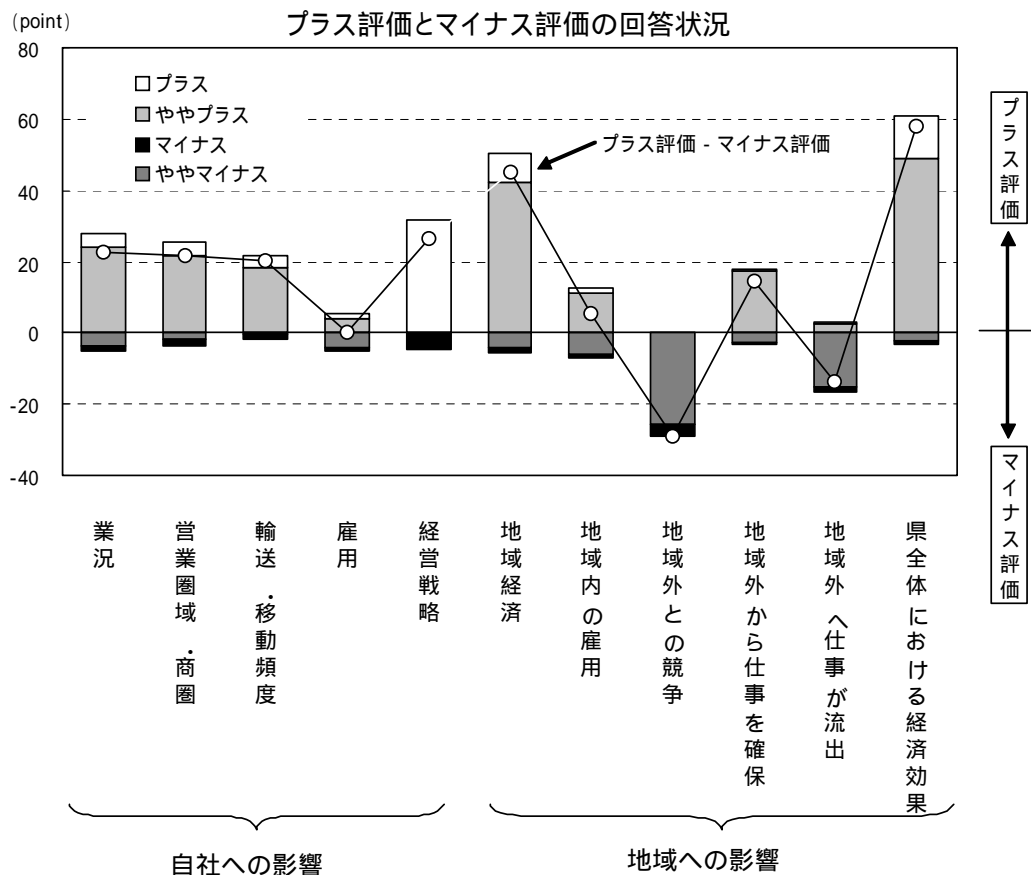
東海北陸自動車道のビジネスでの利用度は、「大いに利用」が4.4%、「ある程度利用」が33.3%、「ほとんど利用しない」が43.6%、「利用しない」が18.7%であった。

自社への影響に関する項目をみると(下記グラフ参照) 雇用については影響が小さいものの、業況、営業圏域・商圈、輸送・移動頻度、経営戦略についてはプラス評価がマイナス評価を大きく上回り、道路を利用することによる直接的な評価は高い。

また、地域への影響に関する項目をみても、地域外企業との競争激化や地域外への仕事の流出といった面でマイナス評価が上回ったものの、地域内での雇用増加や地域外からの仕事の確保などが期待され、地域経済への影響さらに岐阜県全体における経済効果としてはプラスの評価がマイナス評価を大幅に上回り、今後の期待感は大い。



企業業績及び地域経済に対する期待感は総じてプラス効果



(備考)「変わらず」と「無回答」を除いた回答企業数の状況。

経営戦略については、選択肢が「プラス」「マイナス」のみ。

(2) 各地域および観光業における評価

地域別の回答状況をみると、自社の業況に対して「何らかの影響が予測される」と回答した企業の割合（下表(A)+(B)欄）は、飛騨が最も高く、約5割に上った。続いて中濃が4割、最も低かった岐阜では2割7分程にとどまった。影響のほとんどはプラスの評価であったが、飛騨ではマイナスもかなり強く、プラス超過の割合（下表(A)-(B)欄）では、5圏域のうち最も評価が低かった。

岐阜県全体における経済効果については「何らかの影響が予測される」と回答した企業の割合をみると、飛騨、中濃の順で高く、自社への影響と同様の結果となっている（プラス超過の割合についても同様）。中濃では地域経済に対してプラス評価をする企業が多かった一方、飛騨ではプラス評価とともにマイナス評価をする企業も多かったためである。

観光業(旅館・ホテル)の評価は企業数が16社と非常に少ないものの、業況への影響 営業圏域・商圈への影響、現在または将来の企業戦略への影響については10社以上がプラス評価で、自社へのプラス影響に対し期待感が非常に高いと考えられる。加えて、全通による地域への影響も大きい。ただし、地域外企業との競争については9社がマイナス評価をしており、全通により地域外における旅館やホテルとの競争も激化すると予測される。

	標本数	プラス評価 (A)		変わらず		マイナス評価 (B)		(A) + (B)		(A) - (B)	
		%	順位	%	順位	%	順位	%	順位	%	順位
全数	521	29.5		65.0		5.5		35.0		24.0	
岐阜	208	26.2	5	72.3	1	1.5	5	27.7	5	24.6	4
西濃	90	30.2	3	66.3	2	3.5	4	33.7	4	26.7	2
中濃	87	34.1	1	59.8	4	6.1	3	40.2	2	28.0	1
東濃	79	31.9	2	61.1	3	6.9	2	38.9	3	25.0	3
飛騨	57	29.8	4	50.9	5	19.3	1	49.1	1	10.5	5

岐阜県全体における経済効果

	標本数	プラス評価 (A)		変わらず		マイナス評価 (B)		(A) + (B)		(A) - (B)	
		%	順位	%	順位	%	順位	%	順位	%	順位
全数	521	64.8		32.0		3.3		68.0		61.5	
岐阜	208	61.7	5	37.8	1	0.5	5	62.2	5	61.2	3
西濃	90	65.9	3	31.8	3	2.3	3	68.2	3	63.6	2
中濃	87	72.2	1	21.5	4	6.3	2	78.5	2	65.8	1
東濃	79	62.5	4	36.1	2	1.4	4	63.9	4	61.1	4
飛騨	57	66.1	2	21.4	5	12.5	1	78.6	1	53.6	5

(備考) プラス評価とは「プラス」「ややプラス」という回答の合計。マイナス評価についても同様。

担当者コメント

東海北陸自動車道の全通は、県内企業にとってプラスの期待感が非常に高いようです。特に岐阜県全体への影響については、6割以上の企業がプラスと評価しています。また、全通の影響が最も大きいと予測される飛騨地区においては、道路の利用度はかなり高い反面、地域間競争が激化することへの懸念が非常に高い傾向が見られます。同じく影響が大きい観光業では自社へのプラス影響が大きく期待されています。今後全通による経済効果を評価する上で観光産業における動向や効果の把握は重要となるでしょう。(三井)

同自動車道の観光産業への影響について、9月にアンケート調査を実施予定。

【本件に関するお問い合わせ先】

岐阜大学 地域科学部 三井 栄 TEL 058-293-3303  
 (財)岐阜県産業経済振興センター 小川・齋藤 TEL 058-277-1085